

～個がもつ『良さ』が活かされ繋がる集団を目指して～

和らいだ日差しによろやく秋らしさが感じられるようになってきました。園庭のコスモスも次々と花開き、風に揺られながら子どもたちを優しく見守っています。

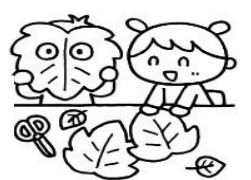
昨年に続き今年も厳しい残暑が続きました。9月は戸外での活動をためらう日もたくさんありましたが、熱中症指数計をお守りにして短時間の活動から少しずつ体を慣らしてきました。「ホールに行って休憩しよう」「お茶飲んで水分とらなくちゃ」と声を掛け合ったり、「ひんやり気持ちいいな」とミストシャワーを浴びて体の火照りを冷ましたり、汗でぬれた体をタオルでふき肌着を替えたりしながら、自分の健康に関わる生活習慣も身に付けています。

ところで、皆さんはサッカーの試合をじっくり見たことがありますか？サッカーというと、ゴールを決めた瞬間や選手、或いはボールホルダーに注目しがちです。まさきっこたちが園庭でサッカーをしている姿を見ても、みんなが夢中でボールを追いかけて自分が蹴ることを楽しんでいます。年齢が上がり、足元の技術の向上だけでなく各ポジションの役割や戦術を理解するようになってくると、ボールを持っていない時の自分や周り（敵も味方も）の動き・ポジショニング、ゴールを守りかつボールを前へ送りシュートを打つまでの過程全てに意味があることに気付いてきます。それに伴い、それぞれのポジションに対する見方も変わってきて、目立つポジションだけでなく他のポジションの重要な役割を理解し、試合によって任されるポジションが変わっても、柔軟に対応できるようになってきます。ポジションを決めるコーチや監督は、選手のテクニックやフィジカル・メンタルなどその特徴や個性がそのチームの中でより発揮でき、かつチーム全体から見たときの選手同士のバランスを考えながら決めているそうです。小中高で我が家の息子たちがお世話になった指導者の方々や、我が子がチームメイトと試合を振り返り話していることを聞きながら、一人ひとりが輝き繋がりチームとしてまとまるというのは、それぞれが自分や相手の役割を理解し同じ目的をもてた上にあるのだなということに気付かされました。



園における様々な場面での子どもたちの役割も、社会や経済を回す大人の仕事も、自分がやりたいという主体的な気持ちや責任感の上に担われていますが、それぞれの役割に上下はなくどれも大切でかえがえのないものです。一見見落としそうな場面や目立たないところで日々コツコツ頑張っている子がいたり、自分を支えてくれている人がいることに気付き互いに認め合ったりすることができれば、自分の役割に対する誇りや自信につながり、周りの人に対する理解や感謝も深まると思います。

運動会当日は、たくさんのお客さんを前にしていつもと違う展開も予想されますが、一人ひとりが自分の力を精一杯出しながら、同時に周りの友達が頑張る姿を応援したり、友達の良い所をたくさん感じたりできる運動会になるといいなと思っています。応援よろしくお願いします。



10月保育のねらい ～今月は子どもたちとこんなふうにごしたいな～

3 歳児 ○ 自分の思いを伝えたり表現したりしながら、友達と関わって遊ぶ。

うさぎ組

- ・ 友達と一緒に戸外で体を動かし、簡単なルールのある遊びを楽しむ。
- ・ 身近な秋の自然に興味をもって触れたり遊びに使ったりする。
- ・ 楽しかったことやイメージしたことを絵や言葉で伸び伸び表現する。

4 歳児 ○ 体を伸び伸びと動かす気持ちよさや、みんなで一緒に活動する楽しさを味わう。

くま組

- ・ 走る・跳ぶ・よじ登るなど様々な体の動きを楽しみながら遊ぶ。
- ・ 簡単なきまりやルールが分かり、みんなで遊ぶ楽しさを感じる。
- ・ 鳴き声や動きなど、身近な秋の虫の様子に関心をもつ。
- ・ 自分なりのイメージを膨らませながら、絵や言葉で表現することを楽しむ。

5 歳児 ○ 友達と互いの力を出し合い、目的に向けて取り組み、やり遂げる喜びを味わう。

きりん組

- ・ チームの友達と力を合わせたり競ったりし、友達が頑張る姿にも目を向ける。
- ・ 自分の役割をもち、友達と動きやリズムを合わせて表現する。
- ・ 感動したことや想像したことを、様々な材料を使ってじっくりと絵に描く。
- ・ 虫の鳴き声や作物の生長など身近な自然に関心をもち、季節の移り変わりを感じる。

☆ご家庭でも、お子さんと一緒に秋探しをしてみてください。